

菅地区社会福祉協議会では、菅・菅野戸呂・菅稲田堤・菅城下・菅仙谷・菅北浦・菅馬場を対象地域として、**健康で幸せが守られる明るい福祉のまちづくり**を目標に、地域の中でお互いに支え合いながら様々な福祉活動を進めています。

賛助会員の皆様からご協力いただいた賛助会費は、地域の福祉活動を進めるための貴重な財源として、次のように活用させていただいています。

1 社会福祉のつどい

年に1回、「社会福祉のつどい」を開催してきました。令和元年度も地域内の幼稚園、小・中学校の児童・生徒や、町会、いこいの家、長生会等、地域の様々な方々に参加していただきました。出演者の熱のこもった演技に観客から惜しめない拍手と声援が送られ、盛会裏に終了することができました。



2 障害福祉部

部の主な活動として中学1年生を対象とした福祉体験授業の支援を行ってきました。地域の2つの中学校へ区社協から借り受けた福祉用具を持って、部員総出、他の部からも応援を得て車いす、全盲、点字、高齢者の4種類を2時間ほどかけて体験して頂いています。皆さん熱心に取り組んでくださいます。また、小学校のふれあい祭りには車いす体験コーナーを設けていただき、希望する子どもたちや保護者の皆様に体験していただいています。体験を通して思いやりの気持ちが醸成されるよう努めています。



3 老人福祉部

老人福祉部は、これまで地域の小中学校に協力を依頼し、児童・生徒さん達から一人暮らしの高齢者の方に年賀状を送ってきました。

お子さん達が心を込めて書いた明るく元気な年賀状が、高齢者の皆様に笑顔を届けています。



4 研修会

いつ起こるか分からない災害に備え、「災害ボランティアセンター設置訓練」を開催し、地域でのお困りごとと、ボランティアの方のコーディネートなどの研修会等を開催してきました。今後も様々な検討をしていきたいと思います。



菅地区社会福祉協議会会長 大澤 敏夫 会長

菅地区社会福祉協議会は、平成18年4月に設立以来、健康で明るい福祉の町づくりの構築を目標に、活動を展開してまいりました。

主な活動としましては、全員で取り組む「社会福祉のつどい」、社明運動への協力、賛助会員増強運動、共同募金への協力に加え、広報紙の発行、小中学校児童生徒を対象とした高齢者疑似体験、小児救急救命法、一人暮らし老人への激励の手紙発送、一人暮らし老人会食会、ミニデイケアの開催等、4部2委員会による個別の活動にも取り組んでおります。

本年度は、新規の取組として、自然災害に対する問題にも取り組んでいきたいと考えております。今後とも地域にお住まいの皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。